

研究分野		授業科目名					科目責任者	
形態系分野		外科腫瘍学特論Ⅰ・Ⅲ					上野 富雄	
開講年次		共通／専攻／選択			単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択			特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的								
消化器外科関連臓器において適切な手術を実施するため、癌の発生、進展、転移の機序を理解し、その知識に基づいた癌治療について理解する。								
授業到達目標								
(1) 癌の進展、転移と諸種分子生物学的因子の関与について理解し、説明できる。 (2) 各因子の作用機序を説明できる。 (3) 各因子の作用機序を証明する実験ができる。 (4) 臨床応用を念頭においた癌制御の実験結果を想定できる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容	
1	毎週	水	18:00-19:00	上野 富雄	講義	[抄読会]	抄読会・研究カンファレンス [場所:本館棟 14 階中カンファレンス室]	
評価方法								
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。								
課題(レポート等)に対するフィードバック								
紹介論文の要約について、添削して返却する。								
教科書								
ISBN-9780323299879, Sabiston textbook of surgery : the biological basis of modern surgical practice, [edited by] Courtney M. Townsend, Jr., et al., Elsevier, 2017								
参考書								
ISBN-9784758120210, がん生物学イラストレイテッド, 渋谷正史, 湯浅保仁編集, 羊土社, 2011 ISBN-9784895926928, シグナル伝達 : 生命システムの情報ネットワーク, バスティアン D.ゴンパーツ, イスブラント M.クラマー, ピーター E.R.テイサム著 ; 上代淑人, 佐藤孝哉監訳, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2011								
準備学習(予習・復習等)								
(1) 講義ごとの文献・論文を次回講義までに読み直すこと。 (2) 毎回の講義後も文献・論文を復習し要約を考えること。								
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連								
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的的方法論・思考法を知悉する。								
注意事項・メッセージ								
代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。								